

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報(U) 昭63-52777

⑫ Int. Cl.⁴

B 65 D 83/04

識別記号

庁内整理番号

B-7912-3E

D-7912-3E

⑬ 公開 昭和63年(1988)4月9日

審査請求 未請求 (全頁)

⑭ 考案の名称 錠剤分与機構を有する容器

⑮ 実 願 昭61-144777

⑯ 出 願 昭61(1986)9月20日

⑰ 考 案 者 高 倉 善 明 大阪府茨木市宇野辺1丁目6番9号 株式会社吉野工業所
大阪工場内

⑱ 考 案 者 中 村 哲 三 大阪府茨木市宇野辺1丁目6番9号 株式会社吉野工業所
大阪工場内

⑲ 出 願 人 株式会社吉野工業所 東京都江東区大島3丁目2番6号

⑳ 出 願 人 日本シーリング株式会社 大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号

㉑ 代 理 人 弁理士 佐藤 宗徳 外1名

明 細 書

1. 考案の名称

錠剤分与機構を有する容器

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 容器本体1の底部2に多数のラチエット歯4を環状に設けるとともに、ラチエット歯4の外側に錠剤分与口7を形成し、そして、底部2の中央部に錠剤包装体30を保持すべき保持体15を回転自在に軸着し、保持体15には錠剤包装体30の中央開口部35が嵌合されるべき筒状突出部16を設けるとともに、筒状突出部16の下縁から横方向に延びるフランジ19を設け、筒状突出部16の外周には、錠剤包装体30の中央開口部35に突出して形成された係合片36が嵌入されるべき係合部18を設けるとともに、筒状突出部16の上面には、環状に多数の記号表示部17を設け、フランジ19には前記環状に設けたラチエット歯4に係合するラチエット歯22を設け、さらに、前記保持体15の上側より押出片支持体45を容器本体1に着脱自在に嵌着し、押出片支持体45の中央開口48より前記筒状突出部16を

突出させるとともに、押出片支持体45の天板43に、同心状に弧状のスリット46・46を設け、スリット46・46間に、両端部が天板43に接続した弧状の弾板47を形成し、この弧状の弾板47の中央部付近に錠剤押出片44を設け、この錠剤押出片44を前記錠剤分与口7上に位置させ、そして、容器本体1には蓋40を取り付けた錠剤分与機構を有する容器。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は長期間にわたり規則正しく服用する必要がある錠剤等の分与機構を有する容器に関する。

〔従来の技術〕

従来、錠剤分与機構を有する容器として特開昭51-9981号公報がある。この公報のものは第3図・第4図に示すように錠剤包装体30に割出し円板62を重ね、割出し円板62の下側に設けた突片63を錠剤包装体30の透孔61から下側に突出させて一体化し、そして、この一体化したものを容器本体1に嵌入し、突片63を容器本体1の底部開口60から突出させ、容器本体1のラチェット歯4に

割出し円板62のラチェット歯22に係合させて割出し円板62を1駒ずつ回転させ、蓋40を第4図に示すように押圧することにより、錠剤押出片44で錠剤収容部33内の錠剤34を押し、錠剤包装体30のフィルムを破り、錠剤分与口7から錠剤34を押し出すようにしたものである。

〔考案が解決しようとする問題点〕

第3図・第4図に示す従来のは、割出し円板62を1駒ずつ回転させ、蓋40の外側より錠剤押出片44で錠剤34を押し、簡単に決められた日時に過不足なく錠剤34を取り出すことができ、長期間規則正しく薬剤を服用する必要がある場合例えば経口避妊薬等の分与容器として有効である。

しかしながら、前記従来のは蓋40が不用意に押圧された場合に錠剤34が押し出される虞がある。

本考案は前記事項に鑑みなされたものであり、錠剤が不用意に押し出されることのない安定した錠剤分与機構を有する容器とすることを技術的課題とする。

〔問題点を解決するための手段〕

本考案は、容器本体 1 の底部 2 に多数のラチエット歯 4 を環状に設けるとともに、ラチエット歯 4 の外側に錠剤分与口 7 を形成し、そして、底部 2 の中央部に錠剤包装体 30 を保持すべき保持体 15 を回転自在に軸着し、保持体 15 には錠剤包装体 30 の中央開口部 35 が嵌合されるべき筒状突出部 16 を設けるとともに、筒状突出部 16 の下縁から横方向に延びるフランジ 19 を設け、筒状突出部 16 の外周には、錠剤包装体 30 の中央開口部 35 に突出して形成された係合片 36 が嵌入されるべき係合部 18 を設けるとともに、筒状突出部 16 の上面には、環状に多数の記号表示部 17 を設け、フランジ 19 には前記環状に設けたラチエット歯 4 に係合するラチエット歯 22 を設け、さらに、前記保持体 15 の上側より押出片支持体 45 を容器本体 1 に着脱自在に嵌着し、押出片支持体 45 の中央開口 48 より前記筒状突出部 16 を突出させるとともに、押出片支持体 45 の天板 43 に、同心状に弧状のスリット 46・46 を設け、スリット 46・46 間に、両端部が天板 43 に接続した弧

状の弾板47を形成し、この弧状の弾板47の中央部付近に錠剤押出片44を設け、この錠剤押出片44を前記錠剤分与口7上に位置させ、そして、容器本体1には蓋40を取り付けた錠剤分与機構を有する容器とした。

〔作用〕

本考案は、錠剤分与機構を有する容器の保持体15に設けた筒状突出部16に錠剤包装体30の中央開口部35を嵌合し、係合片36を係合部18に係合し、そして、押出片支持体45を嵌着し、蓋40で被覆する。錠剤34を取り出すには、蓋40を開き、保持体15を回転し記号表示部17の記号を錠剤分与口7に合わせ、錠剤押出片44を押圧すると錠剤押出片44は錠剤収容部33を押し、錠剤34は錠剤包装体30のフィルム32を破り錠剤分与口7から押し出される。また、蓋40を閉じると錠剤押出片44は外力により押圧されることがない。

そして、所定の日時に錠剤が服用されたかどうかを筒状突出部16の記号により知ることができる。

また、本考案の錠剤押出片44を設けた弧状の弾

板47は、その両端部が天板43に接続しているので、成形後に内部応力により変形することが少なく、かつ、錠剤押出片44を錠剤包装体30の回転に支障のない位置に保持する。

〔実施例〕

第1図・第2図は本考案の一実施例の錠剤分与機構を有する容器を示すものであり、合成樹脂製の容器本体1の底部2には21個のラチェット歯4が環状に設けられるとともに、ラチェット歯4の外側に錠剤分与口7が形成され、そして、底部2の中央部には筒状軸5が突設され、筒状軸5の上面には軸着孔6が形成され、容器本体1の周縁には係止部8と係止片9が設けられている。

前記筒状軸5には合成樹脂製の保持体15の筒状突出部16が嵌着され、かつ、筒状突出部16の上面から垂下して設けられた軸23が軸着孔6に嵌入されて保持体15が容器本体1に回転自在に軸着されている。また、筒状突出部16の下縁から横方向に延びるフランジ19が設けられ、フランジ19にはL字形のスリット21によりラチェット歯22が設け

られ、筒状突出部16の外周には凹部として形成された係合部18が等間隔に設けられ、筒状突出部16の上面にはラベルを貼着して環状に21個の記号表示部17が設けられ、3週間の曜日が記入されている。

さらに、容器本体1に合成樹脂製の押出片支持体45が着脱自在に嵌着され、押出片支持体45は係止部50が容器本体1の係止部8に係止されて、錠剤押出片44が錠剤分与口7上に位置して回転しないようにされている。そして、この押出片支持体45の天板43には同心状に弧状のスリット46・46が設けられ、スリット46・46間に、両端部が天板43に接続した弧状の弾板47が形成され、この弧状の弾板47の中央部から外側に突出して錠剤押出片44が設けられている。また、押出片支持体45には中央開口48と指針49が設けられている。

さらに、容器本体1の一侧には蓋40がヒンジ41で嵌着され、他側には押ボタン10が軸着されている。

また、錠剤包装体30は円形で中央開口部35が形

成され、この中央開口部35に係止片36が突設され、被覆層31にフィルム32が重ねられ、被覆層31に形成された錠剤収容部33に錠剤34が1個ずつ収容されている。

そして、前記保持体15の係合部18は1個だけでもよい。

〔考案の効果〕

本考案は、錠剤押出片44を設けたので錠剤34が押し出し易く、また、錠剤押出片44を設けた押出片支持体45を容器本体1内に嵌着して設けたので、不使用時に錠剤押出片44が押され、錠剤34が押し出されることがなく、輸送や携帯がし易い。

また、弧状の弾板47は両端部が天板43に接統しているので、成形時の内部応力によって変形し、錠剤押出片44が垂れ下がり、錠剤包装体30の回転に支障となるようなこともなく、安定して支持され、操作がし易い。

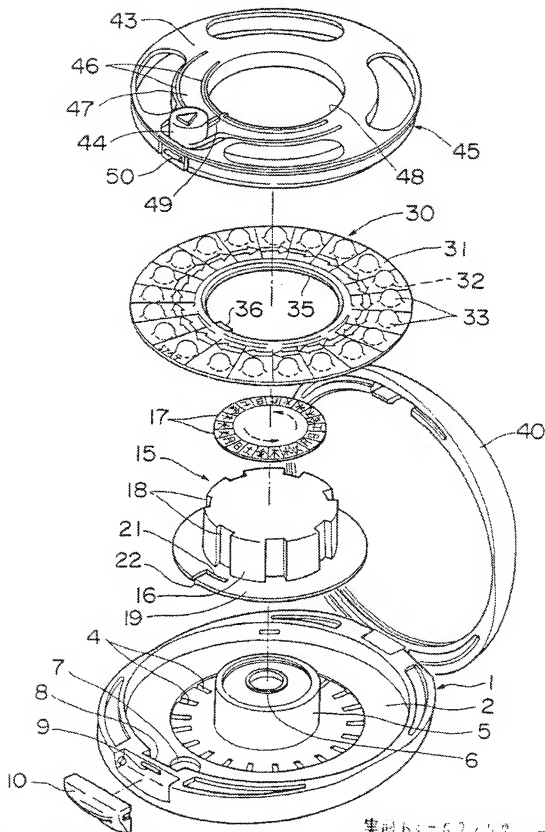
4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例の錠剤分与機構を有する容器と収容される錠剤包装体の分解斜視図、

第2図はその断面図、第3図は従来例の分解斜視図、第4図はその断面図である。

- | | |
|--------------|------------|
| 1…容器本体、 | 2…底部、 |
| 4・22…ラチエット歯、 | 7…錠剤分与口、 |
| 15…保持体、 | 16…筒状突出部、 |
| 17…記号表示部、 | 18…係合部、 |
| 19…フランジ、 | 30…錠剤包装体、 |
| 35…中央開口部、 | 36…係合片、 |
| 40…蓋、 | 43…天板、 |
| 44…錠剤押出片、 | 45…押出片支持体、 |
| 46…スリット、 | 47…弾板、 |
| 48…中央開口。 | |

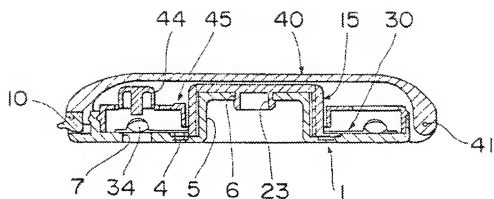
第 1 図



実用 63-52777 819

代理人 井理士 佐藤 宗徳 (外 1 名)

第 2 図

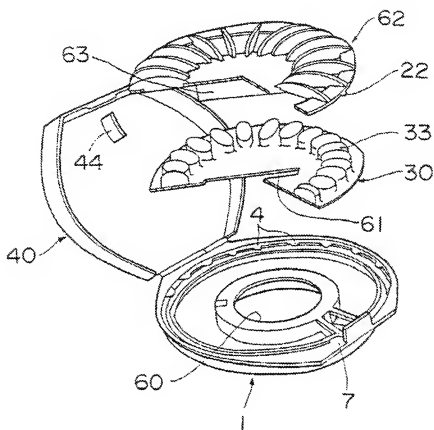


820

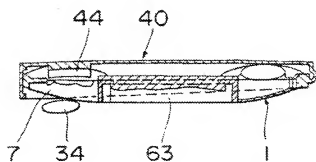
実用新案第 177, 777 号

代理人 弁理士 佐藤 宗徳 (外 / 名)

第 3 図



第 4 図



特許庁長官 昭和三十九年三月二十一日